

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2008/9/22号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第314回例会報告(2008年9月7日)

- ・第14回日本臨床死生学会(かでの2・7第1会場にて午後1時30分~)で我がクラブの会員である長谷川美栄子氏から終末期医療に関する報告がなされました(移動例会)。
- ・自分の最期を自宅で迎えるのか、病院等の施設で迎えるのかは、自己決定権の問題であるとともに、自分の家族や介護者のことをも踏まえなければならない難しい問題です。
- ・統計上では、自宅で最期を迎える割合は少なく見えますが、自宅で長い老後生活を過ごし、死の直前等で通院等による治療が困難になった時に病院等の施設に入院した場合も、自宅以外で最期を迎えた割合にカウントされているということなので、実質的に最期まで自宅で生活している人の割合は意外と多くなりそうです。
- ・最期まで自宅で生活することを可能にするのは、病院等の施設や地域社会の連携によるサポートが必須です。
- ・報告では、そのようなサポートに力を注いでいる例が紹介されており、今後高齢化社会に突入する我が国の将来を考えると、心強い限りです。
- ・しかし、上記サポートが常にどこでも受けられる状況には未だ至っていないのではないのでしょうか。今後も我々は、病院等の施設や地域社会の連携によるサポートが量的かつ質的に拡大するようにしていく必要があるのではないかと思います。

第315回例会予定(2008年9月22日)

- ・ほっとパーティー兼10月のクラブフォーラム

第316回例会予定(2008年9月29日)

- ・新世代卓話

環境問題基礎知識(第9回:植林の必要性とその限界)

地球上の森林面積は約40億ヘクタールあり、南極とグリーンランドを除いた世界の陸地のほぼ3分の1を占めています。これだけ聞くと、世界にはまだまだ緑が豊富にあると思いがちですが、これは1万年ほど前に人類が農耕生活をはじめたころの半分の面積でしかありません。

特に近年になってからの減少率が激しく、国連食糧農業機関(FAOの報告書)の調査によると、1990年代の10年間だけで約9400万ヘクタールの森林が地球上から消

えているそうです。現在も年間約731万ヘクタールの森林が失われており、これは北海道の面積に匹敵する広さです。このままのペースで減っていくと、100年以内に世界の森林は消滅する可能性があります。

近年の森林減少を地域的に見ると、アフリカや南アメリカ、東南アジアの熱帯雨林が著しく消失しています。

アフリカや南アメリカでの森林減少の原因は、焼き畑による農地への転換や、度の過ぎた放牧、伐採や森林快活などと言われています。

(東南アジアにおける森林の減少の原因については次回に続く)

(事務局) 〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1ライオンズマンション第3大通801
TEL/Fax:011-301-2552